



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第4週（令和8年1月19日～令和8年1月25日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・ 感染性胃腸炎等の定点当たり報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。感染性胃腸炎は、細菌やウイルス等の感染により起こる胃腸炎の総称で、潜伏期間の後、嘔吐、下痢、腹痛等の症状がみられます。家庭や集団生活では感染が拡大しやすいため、トイレの後、調理前、食事前には、必ず流水と石けんによる手洗いを励行しましょう。ふん便や嘔吐物を処理する際には、使い捨ての手袋・マスク等を着用し、適切に処理しましょう。
- ・ 梅毒の報告が16件ありました。梅毒は、主に性的な接触で感染し、感染部位にしこりが出来る等、感染後の経過期間によって様々な症状が現れます。時に無症状になりながら進行するため、知らずに誰かにうつすおそれがあります。感染リスクを減らすために、避妊具（コンドーム）を正しく使用しましょう。梅毒は、早期に抗菌薬で治療すれば完治が可能です。検査や治療が遅れると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。県内の保健所等では、無料・匿名での検査を実施しています。詳細は、最寄りの保健所等へお問い合わせください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	23	51	208	507
腸管出血性大腸菌感染症	1	4	41	91
レジオネラ症	1	4	35	120
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	7	10	38
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	8	22	79
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	11	32
侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	64	193
梅毒	16	44	141	426
百日咳	14	46	221	599

■ 定点把握疾患報告数

：警報

：注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	76	0.62	1.21	5,833	1.54
インフルエンザ	2,263	18.55	1.01	43,027	11.33
急性呼吸器感染症	7,556	61.93	1.18	185,435	48.91
RSウイルス感染症	72	1.03	1.95	1,430	0.62
咽頭結膜熱	51	0.73	1.31	504	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	413	5.90	1.45	5,115	2.22
感染性胃腸炎	680	9.71	1.29	15,412	6.68
水痘	29	0.41	0.78	715	0.31
手足口病	9	0.13	2.25	100	0.04
伝染性紅斑	8	0.11	0.62	606	0.26
突発性発しん	25	0.36	1.09	554	0.24
ヘルパンギーナ	7	0.10	2.33	45	0.02
流行性耳下腺炎	1	0.01	1.00	54	0.02
急性出血性結膜炎	3	0.12	3.00	11	0.02
流行性角結膜炎	15	0.58	0.79	303	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	5	0.33	1.67	245	0.51
クラミジア肺炎	0	0.00	－	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	17	0.04